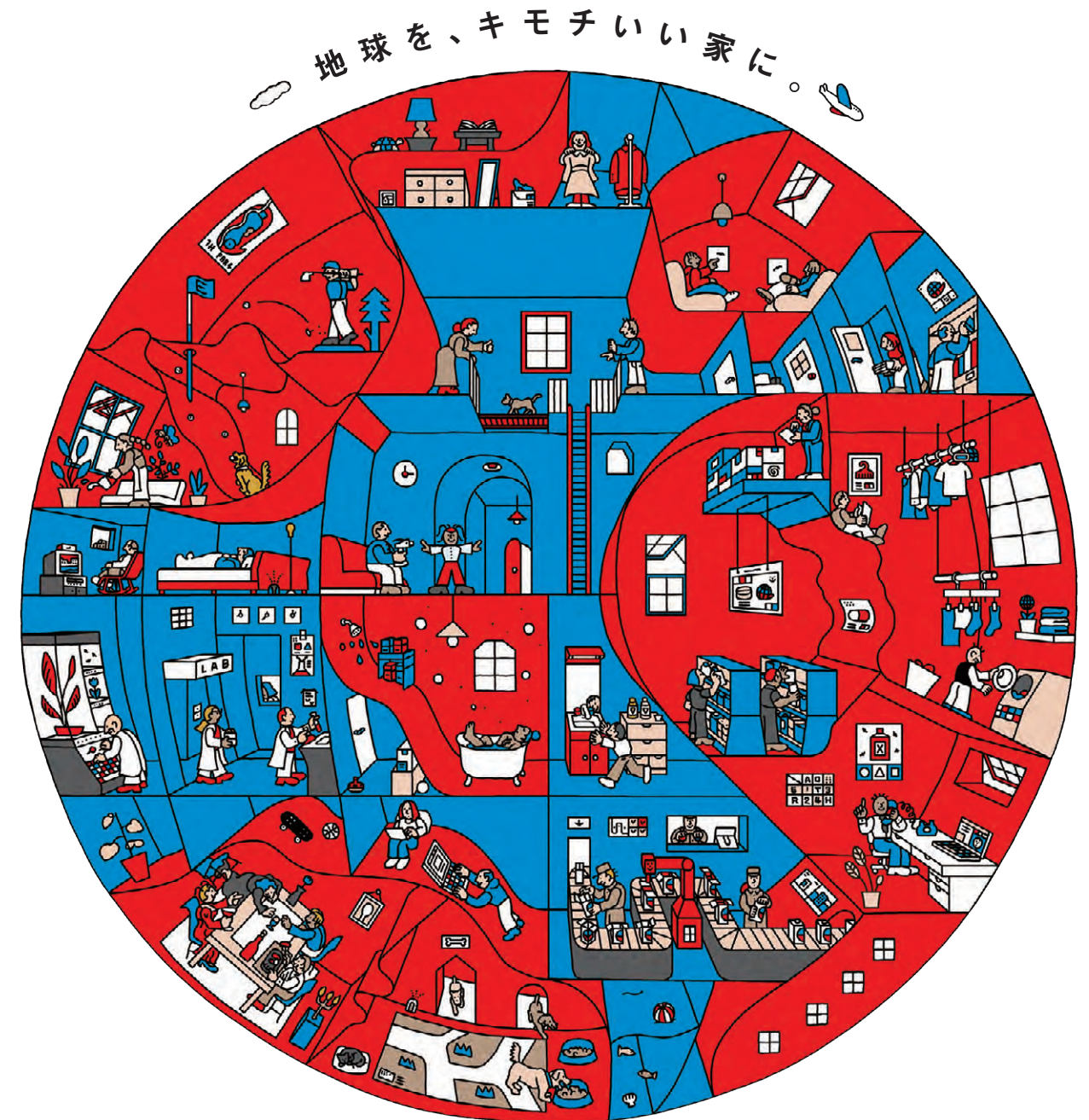
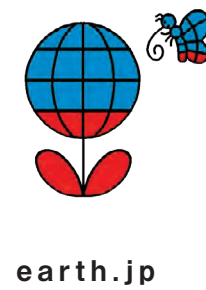




Earth Group Act For Life

Group Profile 2024





Contents

3	アースグループの商品
5	経営理念 / ごあいさつ
7	中期経営計画
13	人財マテリアリティ
15	MA-Tシステム®
17	アースグループ紹介
25	アースグループ国内外の工場
27	グローバル戦略 / 海外現地法人の紹介
31	アースグループのサステナビリティ
35	アースグループのあゆみ
37	アースグループ会社一覧

この「地球」に住む一人ひとりに

幸せを届けたい。

「アース」という名前には、

そんな思いがこもっています。

変わりゆく時代にあわせて、2025年で設立100周年。

たくさんの人に使いやすく

さまざまな場面で役立つために。

自然が教えてくれる知恵。科学が生み出す発見。

使う人の“キモチいい”を

考えながら工夫し、組み合わせ、

ちょうどいいバランスを考える。

つくる人も、届ける人も、支える人も

ひとつになって今日も、明日も、あさっても。

そして、いつか未来まで。

安全で、安心で、使うほどに心地よく。

暮らしの中に、そっと寄り添って

「キモチいい」時間を増やしていきたい。

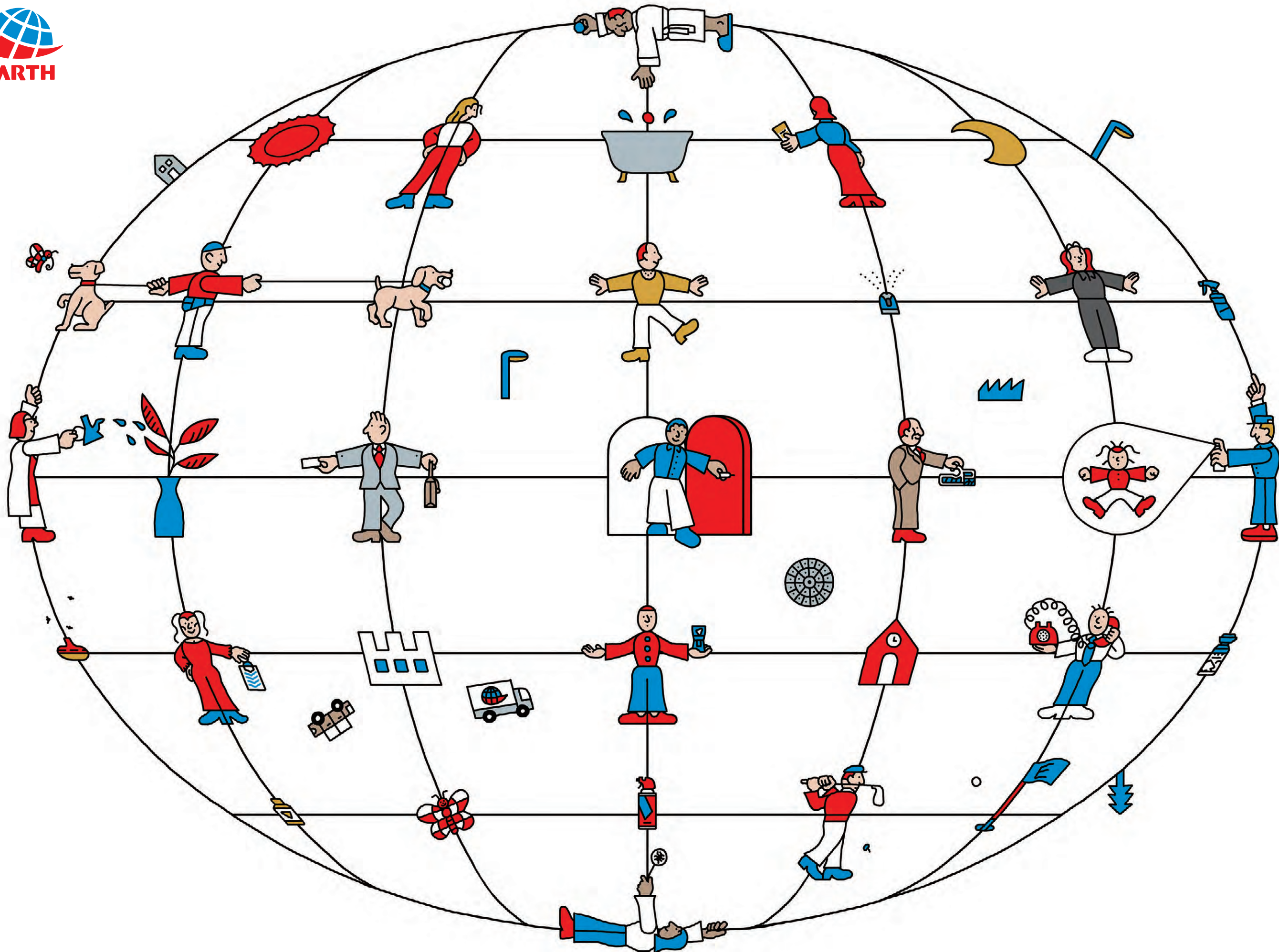
アースグループは一步先の未来を見据えて地球のうえに、

もっと、もっと、たくさんの

「キモチいい」笑顔を広げていきます。

Act For Life

地球を、キモチいい家に。



暮らしのあらゆるシーンで お客様に寄り添うアースグループの商品

アースグループは、地球環境に配慮しながら、
お客様の健康と生活の向上に貢献する
「お客様目線」を大切にしたものづくりを追求しています。
日本の、世界の暮らしの中へ高品質な商品をお届けしていきます。

ハエ・蚊用
エアゾール



アースジェット

液体
蚊とり



アースノーマット

ゴキブリ用
エアゾール



ゴキッシュ スッ、スゴい!

衣類用
防虫剤



ミセスロイド

除湿剤



ドライ＆ドライUP NECO

消臭
芳香剤



スッキーリ!

介護用品



ヘルパータスケ

掃除用品



エアコン洗浄スプレー

人体用
虫よけ



サラテクト

吊り下げ
虫よけ



アース虫よけネットEX

置き型
虫よけ



マモールーム

コバエ用
捕獲器



コバエがホイホイ

入浴剤



きき湯

入浴剤



バスロマン

オーラル
ケア用品



モンダミン

掃除用品



バブルーン

衣類用
冷感ミスト



アイスノン シャツミスト

マスク



快適ガードプロ

除菌
消臭



N.act 除菌・消臭スプレー

冷蔵庫用
脱臭剤



ノンスメル

ペット
フード



ファーストチョイス

ペット用
消臭剤



ジョイペット 天然成分消臭剤

家庭園芸用
除草剤



うちの草コロリ

家庭園芸用
殺虫殺菌剤



ロハビ

地球を、キモチいい家に。



EARTH
Act For Life

地球上すべての人々に必要とされる商品とサービスを提供し、
社会とともに持続的に発展・成長する。
それが、経営理念・アースポリシー・アースバリューに込めた私たちの意志です。
『Act For Life』という言葉は、生命・生活^{いのち} (Life) に寄り添い、
安全で快適な生活に貢献する (Act) というアースグループの
お客様との約束を表しています。

経営理念

^{いのち}
生命と暮らしに寄り添い、
地球との共生を実現する。

We act to live in harmony with the Earth.

アースポリシー

お客様目線による市場創造

Creating a Market with customers

熱意・創意・誠意

Passion・Innovation・Integrity

すぐやる・必ずやる・最後までやる

Momentum・Achievement

アースバリュー

全員参画

One Earth

コミュニケーション

Open communication

人がすべて

Diversity

One Earth

より力強く、
アースグループは
挑戦し続けます。

アース製薬は、2025年で設立100周年。

この大切な節目を思い

ステークホルダーの皆様や先人への

感謝の気持ちを新たにしております。

長きにわたり成長を続けてきた原動力は

「お客様目線」を徹底的に追求するという信念と

変化に対応し続けながら、

チャレンジをする精神にあります。

すべては、お客様のために。

国内外を含めたアースグループ各社、

そこで働く一人ひとりが

今をともにしている「縁」を大切に

お互いの強みを掛け合わせていく。

2024年からの新・中期経営計画スローガン

「グループの総力、アースの明日へ」のもと、

より強固なアースグループへと成長していきます。



アース製薬株式会社
代表取締役社長CEO
兼 グループ各社取締役会長

川端 克宜

Act For SMILE COMPASS 2026

S L O G A N

グループの総力、アースの明日へ

今こそ、アースグループの本来もちうる力を最大限発揮するとき。
私たちはこの期間を通じ、力を発揮するための構えをつくり、
未来に向けてより強固なアースグループへと成長していきます。

中期経営計画は会社の方向性を示す羅針盤＝「COMPASS」です。
目指すべき目的地を見失わないために社員にとっての「COMPASS」を
行動規範として定め、アースグループ全社員に向け発信しています。

COMPASS：行動規範に込めた意味

- C** **Customer first** = 顧客第一
アースポリシーの最初にも掲げる絶対の指針は「お客様目線」
- O** **Open communication** = コミュニケーション
伝えたつもりでは、コミュニケーションではない
相手が納得して行動に移して初めて伝わったことになる
自分の意見を積極的に発信するとともに、周りの意見に耳を傾け理解を深め合う
- M** **Mind-set for evolution** = 進化する姿勢
日々外部環境は変化している
広い視野をもち、変化を受け入れて、私たち自身が進化していくという強い決意をもつ
- P** **Proactive challenge** = 積極的なチャレンジ
たとえ失敗しても、果敢にチャレンジした結果であればOK
失敗を恐れて何もしないよりも、学ぶことは多く大きな成長につながる
- A** **Agility** = 機動力
グローバルへの意識を高め、機動力をもって取り組む
- S** **Sustainability** = サステナビリティ
世界とともに共生する企業として、事業を通じて社会に貢献する
- S** **Smile** = 常に笑顔を忘れずに
笑う門には福来る。笑顔あふれる明るいところに、人は集まる





グループの総力、アースの明日へ

アースグループの長期的な成長に向けて、海外事業などの成長領域を支えるガバナンス体制の構築や、シナジー創出に向けた組織機能の再編などグループ経営基盤を整備し、2027年以降の利益率向上を目指します。

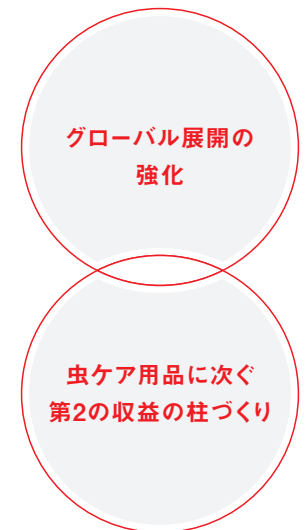
..... 2021 2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028

COMPASS 2023

Act For SMILE COMPASS 2026

次期中計

収益構造改革 ・体制づくり



多様な事業展開の基盤構築

グループ売上と利益の最大化

グループ利益体 再編と質強化

営業利益率

「Act For SMILE COMPASS 2026」では、
前中期経営計画の振り返りをもとに、
課題を整理して3つの重点方針
「海外の売上拡大」「収益構造改革」
「グループ経営力強化」を定めました。
それぞれの重点方針のもと、
各取り組みを推進していきます。

1
2
3
3つの重点方針



海外の売上拡大

Act For SMILE COMPASS 2026

現地法人を軸にした成長戦略の遂行

- 現地法人の実態に即した販売戦略・施策を展開し、各国での市場シェア拡大を目指す。
- 輸出事業においては独自性の高い虫ケア用品を中心に展開エリアを拡大し、市場性の高いエリアを見定めて資源を投入する。

各エリアの中長期計画と連動したサプライチェーンの整備

- 商品の開発計画と連動し、円滑な供給に向けた調達・生産体制の整備、物流網の構築を行う。

成長を支える人財の拡充

- 海外で活躍するために必要な人財要件を定義するとともに、海外勤務に関わる人事制度を再整備する。
- 計画的な異動・育成・採用によりグローバル人財の拡充を図る。



収益構造改革

ブランド・SKUの「選択と集中」

- 将来性と収益性を考慮し、SKU30%削減を目標として効率化を目指す。
- マーケティング投資配分を見直し、入浴剤・口腔衛生カテゴリーへの積極投資を行う。

ブランド価値およびWTP (willingness to pay※) の向上

- 長く支持されるブランドとなるために、お客様にとってのブランド価値を再定義しマーケティングを推進する。
- ブランドKPIの再設計およびコミュニケーション施策のモニタリング強化により、施策改善の精度を高める。

虫ケア用品 返品率低減

- 「虫ケア用品返品ゼロ」の目標に向けて返品削減を実施し、環境負荷低減にも貢献する。

※willingness to pay：支払意思額



グループ経営力強化

組織再編によるコストシナジーの創出

- グループ全体最適の視点で組織の再編・機能の統廃合を推進し、コストシナジーを生み出す。

戦略的M&A

- アースグループにおける課題解決の手段の一つとしてM&Aを位置付け、積極的な検討・推進体制を構築する。
- M&Aロング／ショートリストの再整備・PMI推進体制の刷新を行う。

投資採算性の向上

- 投資後のモニタリングを着実に実施し、課題の早期発見と解決に向けた打ち手の協議を行う体制を強化する。

2026年
定量目標

2026年時点では、構造改革の成果が見え始めるものの、あくまで通過点で、準備の3年間を経た2027年以降、飛躍的な成長を目指します。

	2023年実績	2026年計画	増減
売上高	1,583億円	1,700億円	+117億円
海外売上高*	175億円	250億円	+75億円
営業利益	63.7億円	70.0億円	+6.3億円
当期純利益	41.0億円	43.0億円	+2.0億円
ROE	6.3%	7.2%	+0.9pt

※当社管理会計ベース、内部相殺取引などの連結調整は含まない



人財マテリアリティ

人的資本経営の実現に向けて

価値観の多様化、テクノロジーの進展、日本国内の人口構造の変化、グローバル化など、当社を取り巻く環境が激変している中、私たちの存在意義は新たな価値を生み出していくことだと認識しています。「アースバリュー」で“全員参画、コミュニケーション、人がすべて”と定めているように、社員を会社発展の原動力となる価値あるかけがえのない「人財」と考え、長期・短中期の視点から人財マテリアリティを策定しています。

アース 人財理念

社員とともに成長します =Challenge to Grow=

～一緒にチャレンジする働く仲間全員を大切にします～

アース 人財マネジメント 方針

- ・アースポリシーを備えた人財を採用します
- ・アースポリシーを備える自律した人財を育成します
- ・チャレンジする人にやりがいのある仕事、チャンスを提供します
- ・成果を上げた人に厚く報います
- ・安心して働ける職場を整備します
- ・多様な働き方を実現します

人財マネジメント 戦略

- 人がすべて
- ・働く環境とともに“働きがい”を感じられる会社に
 - ・目標に向かってチャレンジを促進する仕組みづくり

アースグループの人財マテリアリティ

1 グループ経営強化による
コストシナジーの創出

2 Well-beingを実感できる
職場環境の整備・社内文化醸成

3 経営・事業戦略に必要な
人財の確保・育成

4 多様な人財の自律した
キャリア形成支援と仕組みの整備

取り組みテーマによる価値創出

人財マテリアリティごとに設定した取り組みテーマを通じ、中期経営計画を実現していきます。具体的には、人事制度（採用・教育研修、人事異動、給与・評価制度、働き方改革、ダイバーシティ等）の各種人事施策の整備、多様な人財が力を発揮できるよう、社員それぞれの能力の強化に取り組んでいきます。

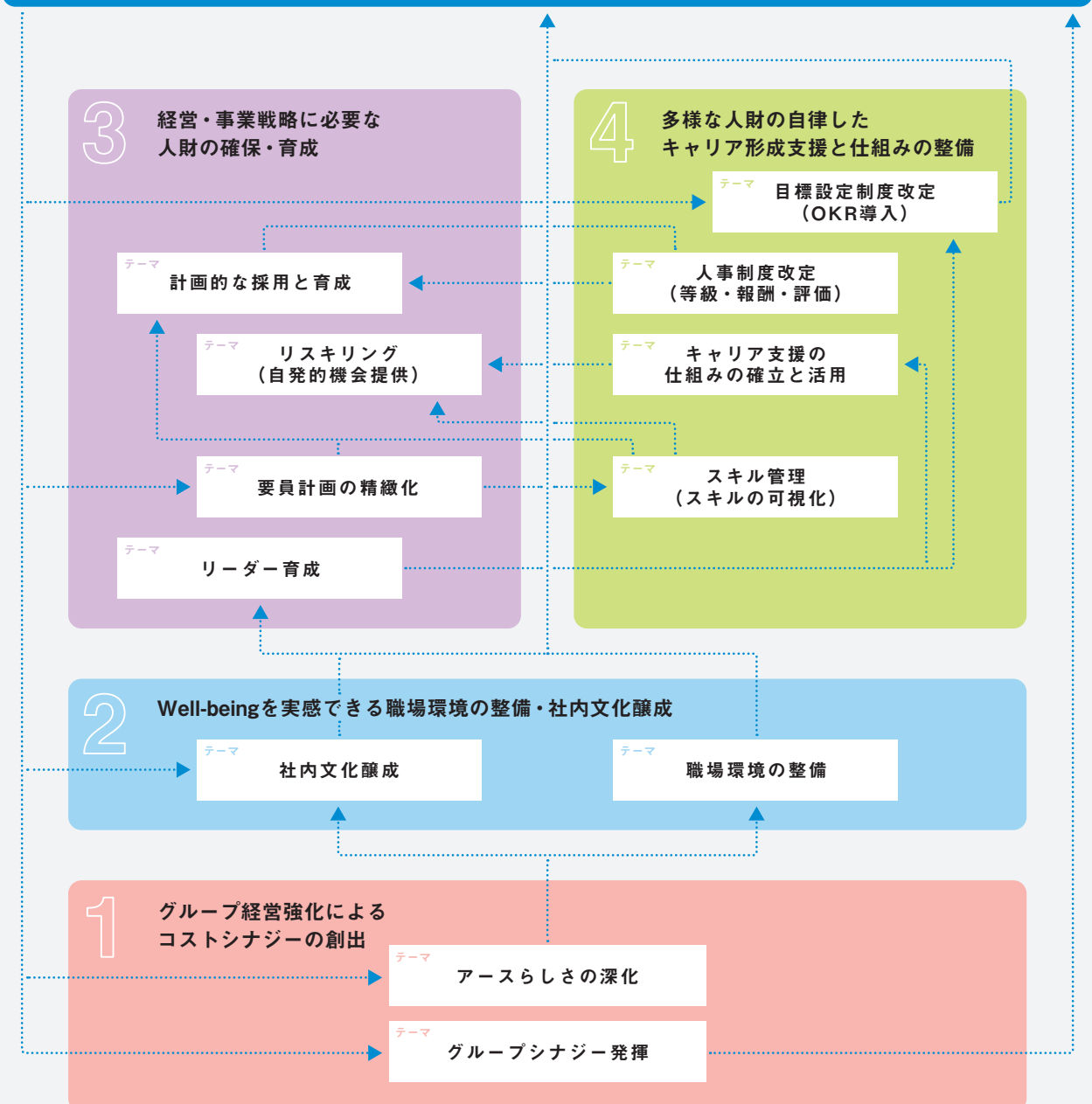
長期
取り組み

『アースポリシー・アースバリューに共感する多様な人財の活躍を支える職場環境の整備』を推進します。

短中期
取り組み

『中期経営計画に基づく人財課題の解決』を目指し、人財戦略を策定・実行します。

多様な人財がエンゲージメント高くキャリア形成できるWell-beingの実現



日本発の革新的酸化制御技術

「MA-Tシステム®」事業の推進で
感染症トータルケアカンパニーへ

アース製薬は、「^{いのち}生命と暮らしに寄り添い、地球との共生を実現する。」という経営理念を追求し、より感染症対策ソリューションを提供できる感染症トータルケアカンパニーへと歩みを進めています。その動きをさらに加速させるのが、日本発の革新的酸化制御技術「MA-Tシステム®」です。

経験と知見を活かし、世界の感染症対策に貢献します

「MA-Tシステム®」

「MA-Tシステム®」とはMatching Transformation System®の略で、日本発の革新的技術である酸化制御の仕組み（システム）です。活性化の強弱を制御することで、ウイルスの不活化、種々の菌（細菌）の除菌など、広範な応用展開が可能です。

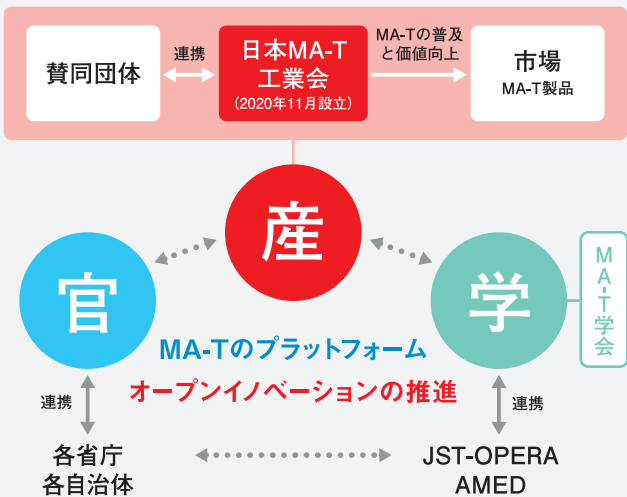
日本MA-T工業会の活動

一般社団法人日本MA-T工業会は、「MA-Tシステム®」の産業創造による経済効果や社会課題解決の可能性を探ることを目的としたオープンイノベーションのプラットフォームです。アース製薬は、虫ケア用品のリーディングカンパニーとして虫ケア用品の正しい知識の普及や虫を媒介とした感染症患者を減らすべく世界各地で活動してきた経験と知見を活かし、同工業会の活動を通じて「MA-Tシステム®」の社会的信用向上に努め、世界規模で喫緊の課題である感染症対策に貢献していきます。

産官学連携の
取り組み例

革新的な「MA-Tシステム®」を幅広い分野で展開すべく、産官学が連携して取り組んでいます。大阪大学をはじめとするアカデミアが薬学・医学・歯学・工学などの幅広い分野で研究開発をしており、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）や国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）などが採用する国家予算によるプロジェクトにつながっています。また、学術発表の場として開設されたMA-T学会では、「MA-Tシステム®」の研究活動や若手研究員の育成などを推進しています。

産官学連携の体制



活性化レベルの違いで応用展開が異なる「MA-Tシステム®」

活性化の強弱を制御することで広範な応用展開が可能



Award

内閣府『第6回日本オープンイノベーション大賞』

内閣総理大臣賞を受賞

アース製薬は、日本MA-T工業会、国立大学法人大阪大学などと共同で進める「MA-Tシステム®」の取り組みにおいて、内閣府による『第6回日本オープンイノベーション大賞』の内閣総理大臣賞を受賞しました。今回の受賞は、広範な社会実装が期待できる酸化制御技術「MA-Tシステム®」によるオープンイノベーションの推進や産学連携の取り組みが評価されたことに

よるものです。当社がハブ的な役割となり、「MA-Tシステム®」の社会実装や事業化促進に向けて、現在、日本MA-T工業会とライセンスプラットフォームの構築を推進しています。今後一層、「MA-Tシステム®」の活用をご検討いただく方々が簡単なプロセスで特許許諾を受けられるという日本初の仕組みづくりを加速させていきます。



2024年2月14日に開催された表彰式の受賞者による集合写真。アース製薬株式会社 代表取締役社長CEO 川端克宜（写真前列左から3人目）、高市早苗衆議院議員 内閣府特命担当大臣（写真前列左から4人目）



Earth Group



人々の暮らしに寄り添い、
その思いをアースグループが一体
より良い社会の
日々歩みを

地球のために貢献する。
となって共有し協働しながら、
一助となるため、
進めています。



シナジー戦略の核として “お客様目線”を追求する



アース製薬

1925年8月26日に設立しました。圧倒的なトップシェアを誇る虫ケア用品を中心に、オーラルケア用品『モンダミン』や、入浴剤『バスロマン』『温泡』、掃除用品『らくハピ』シリーズ、園芸用品『アースガーデン』シリーズなど、人々の健康で快適な暮らしを支える幅広いカテゴリーの商品を展開しています。機動力・組織力を活かした売場展開力を武器に国内市場の活性化を進める一方、海外への輸出展開は約50カ国にまで拡大、アジア域内での売上やシェアの拡大に注力しています。アースグループの成長をけん引するリーダーとして、「お客様目線による市場創造」を追求し、グループシナジーの創出に向けて積極的にチャレンジを続けていきます。



化学合成殺虫成分を使わず、手軽にゴキブリを誘引して捕獲する革新的商品「ゴキブリホイホイ」は、1973年に発売され大ヒット。50年以上のロングセラー商品。



お口のトラブルの原因となる「よごれ」の洗浄に着目した洗口液「モンダミン」。子どもから高齢者まで、お口の悩みに合わせた豊富なラインアップを展開。



確かな効きめと使いやすい構造で、1984年の発売から40年以上蚊とり用品のトップシェアを占める液体蚊とり「アースノーマット」シリーズ。

ニーズに応える商品を、 安心・安全につくる

新商品の開発や既存品の改良・改善を行う研究開発部門と、ブランド戦略立案や消費者調査・市場調査などを行うマーケティング部門が連携し、お客様のお悩みを一つでも多く解消することを目指しています。そして、品質を保持しながら最適な生産数量を、高度な管理体制でつくり続け、お客様のもとへお届けしています。

営業力とお客様目線で、 世界中の人々に商品を届ける

国内外の営業部員が小売店や代理店の方々にアース製薬の魅力を伝え、世界中の人々に商品を届けています。自社商品の売上拡大だけでなく、カテゴリー全体の活性化を踏まえた提案型営業が特長です。また、2004年に発足したアース独自の、販売促進をサポートするスペシャリスト集団『EMAL』^{エマール}が、お客様目線の売場づくりを支えています。

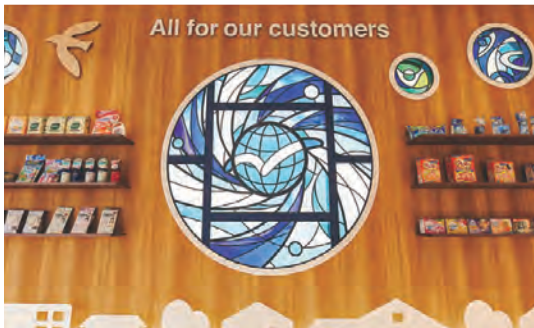


「チャネル戦略事業本部」発足、 デジタル領域と新販路の 開拓強化

2024年1月、多種多様なチャネルに対応した新組織として発足しました。大手ネット通販向け営業とデジタルマーケティングのほか、業務用販路にアース商品や業務用専売品を販売。研究開発部門と連携し、他企業との共同開発を通じて、アースの技術力をアピールし、より多くの方に新しい活用・価値の提供を推進しています。

お客様のお気づき・ご意見を、 商品開発に活かす

「お客様目線による市場創造」をポリシーに掲げるアース製薬にとって、アース製薬の商品が使われたお客様から寄せられるさまざまなお気づきの声は、大切な財産です。「お客様のお気づきを活かす窓口部」がお客様のお気づきやお問合せなどのご意見を直接承り、その情報を商品開発に活かすように取り組んでいます。



揺るぎないブランド力で グループの多角化を担う



株式会社白元から主な事業を譲り受け、2014年にアースグループとしてスタートを切りました。衣類用防虫剤の市場をけん引する『ミセスロイド』をはじめ、脱臭・消臭剤『ノンスメル』や保冷剤『アイスノン』といった、お客様に浸透した日用品ブランドを数多くもつことを強みに、総合家庭用品事業としてアースグループの幅を広げ、多角化展開をしっかりと支えています。また、アース製薬・バスクリンとグループ3社で取り組む入浴剤市場の活性化においては、スキンケアタイプの『HERSバスラボ』と温泉コンセプトの『いい湯立ち』がシナジーの大切な一翼を担っています。また、現在も多くの方が使用されているマスクでは、『快適ガード』『ピーススタイル』など独自性が高い商品を揃えています。近年では、2022年に発売した除湿剤『ドライ＆ドライUP NECO』が、お客様ニーズと環境の双方に配慮した商品として注目を浴びています。今後も魅力ある新商品を開発し、グループの事業領域の拡大に貢献していきます。

自然と科学のチカラで お風呂の価値を高める



明治時代に誕生した日本初の入浴剤『浴剤中将湯』の発売で知られる津村順天堂（現 株式会社ツムラ）をルーツにもつ株式会社バスクリンは、2012年よりアースグループに加わりました。国民的入浴剤として知られる『バスクリン』や、温泉の泉質を表現した『日本の名湯』、育毛剤『インセント』など、生薬・温泉ミネラルに代表される天然成分を応用した、独自性の高い商品を開発しています。入浴の温熱効果や生薬成分がもたらす作用を解明し、エビデンスを科学的に検証するため、大学や研究機関とも積極的に協働。赤ちゃんから高齢者までの悩みを解決できる入浴剤研究、アトピー性皮膚炎や健康寿命に貢献できる素材研究など、数々の研究成果を世に送り出しています。社会環境の移り変わりに伴うバスライフの変化といった時流も踏まえながら、入浴習慣・入浴剤の活用で自然治癒力を高め、お客様の健やかな身体と心の維持に寄与することに、真摯に取り組んでいます。



生薬の研究から誕生した『インセント 薬用育毛トニック』。ショウキョウ、センブリなど生薬の有効成分が頭皮の血流を促進し、抜け毛を予防する。



1930年に誕生、90年以上愛され続ける『バスクリン』。20種以上のラインアップがあり、『バスクリン品質』で家族に笑顔とぬくもりをお届けする。



日本の温泉を徹底研究した入浴剤『日本の名湯』。データを分析して湯ざわりにもこだわり、色と香りで情緒を表現。各地の温泉関連団体が公認している。
◆本品は温泉と全く同一というわけではありません。
※各温泉地で温泉に関わった活動をしている自治体または団体にコンセプト、湯ざわり、色、香り等を品質確認いただき発売しています。



1988年に登場し、ニオイがつかない防虫剤として大ヒットした『ミセスロイド』。消臭、防カビ、黄ばみ防止、ダニよけ効果も搭載。衣類と収納空間をトータルケアするブランド。



花粉やウイルス飛まつをカットするマスク『快適ガードプロ』シリーズ。スキマを埋め、メガネのくもりもカットするノーズクッション搭載。



1965年発売のロングセラー商品『アイスノン』。現在は枕タイプのほかにスプレータイプやスカーフタイプなどさまざまなラインアップで展開するブランドへと進化。



人にとっても、地球にとっても、
より豊かな明日を生きていくために



中核事業である「総合環境衛生管理」サービスは、食品や医薬品の工場や店舗、医療施設などに代表される、品質や衛生管理が重要視される事業分野において、微生物汚染や虫などの異物から施設内の環境を保全するため、科学的な調査と専門知識に基づいたコンサルティングから施工までの一切を実施。現場の衛生管理を支えることは人々の健康と幸せに寄与する、という意識を原動力に、お客様に安全・安心を届ける品質・衛生管理のスペシャリストとして、管理技術や実施ノウハウを提案しています。

大阪府茨木市にある「彩都総合研究所〈T-CUBE〉」では、研究・開発、検査・同定、人材育成の3つをテーマに、AIを活用した捕虫・分析システムの開発や、教育訓練用細胞培養加工施設での再生医療分野の人材育成と科学的データ蓄積など、産学官の多様なネットワークで新たなイノベーションを創出しています。「衛生管理の支援」という既存の枠を超えて、社会やお客様を取り巻くあらゆる「環境」の課題を解決し、より豊かな未来につながる「環境」形成に貢献していきます。



アース・ペット株式会社は、ペット用虫ケア用品『アース』、消臭剤などの『ジョイペット』、プレミアムフード『ファーストチョイス』といったブランドを中心に、首輪・玩具も含めた幅広いラインアップを展開しています。また、子会社のペットフード工房株式会社では、添加物を使わない天然食材のフードも生産・販売しています。2022年に、ペットケアの情報発信のためのアンテナショップ『アース・ペっとはうす』を東京駅八重洲地下街にオープンし、さらに、三重の物流倉庫を刷新し『三重ペットセンター』を開業、新たなペットの情報発信拠点を目指します。2023年には、研究所機能に加え見学もできてペットとも触れ合える体験型研究施設『徳島ペトルランド』を開業し、大切な家族であるペットとの暮らしをさまざまな視点で快適にすることを目指しています。将来的にはグループにおけるグローバル戦略の一環として、顕著な伸びを示すアジアのペット市場も視野に入れ、ペットの健康維持の大切さやQOLの向上について、商品と一緒に世界に向けて発信していくことを見据えています。

ペットと人の絆を大切に、
心豊かな暮らしを実現する



厳選素材のヘルシーフード「ChoiceS」。鶏肉のいいところと自然素材をふんだんに使用。旨味エキス&パウダーでおいしさUP、フレッシュパックで酸化を防ぐ。



なめでも安心な天然の緑茶消臭成分でオシッコのニオイを元から強力消臭できる『ジョイペット 天然成分消臭剤 オシッコのニオイ・汚れ専用』。さわやかなハーブの香り。



人気の液体蚊とり「アースノーマット」にもペット用が。動物のいる空間でも安心して使えるよう、耐熱性・耐衝撃性に優れたタフボディに。



研究・開発、検査・同定、人材育成の3つをテーマに、産学官の多様なネットワークで新たなイノベーションを創出する「彩都総合研究所 (T-CUBE)」

アジアへ広がる、 確かなアースグループ品質

アースグループ国内外の工場 **4ヵ国12拠点**

2012年バスクリンを子会社化、2014年白元アースを設立、2017年アース・ペットを設立、
A My Gia Joint Stock Company (現 アース コーポレーション ベトナム) を子会社化。
これまでアース製薬で培ってきた製造ノウハウと新たなグループ企業のノウハウを融合し、
コストの合理化・収益率の向上につなげています。

天津阿斯化学有限公司
(アース製薬株式会社天津工場)



中国天津市天津经济技术开发区西区新安路98号

白元日用品制造 (深圳) 有限公司



中国深圳市宝安区福海街道展城社区潭道利工业园A2棟1樓

アース コーポレーション ベトナム
ビンズン工場



Block C6, N3 St., Nam Tan Uyen IZ, Khanh Binh Ward, Tan Uyen Town, Binh Duong Province, Vietnam

安速日用化学 (蘇州) 有限公司
(アース製薬株式会社蘇州工場)



中国江蘇省蘇州市高新区朝紅路418号

アース タイランド
ナワナコン工場 第1工場、第2工場



<第1工場>
101/64 Moo 20, Navanakorn Industrial Estate,
Phaholyothin Road, Klong Luang, Pathumthani 12120, Thailand

<第2工場>
60/69, 60/87 Moo 19, Navanakorn Industrial Estate,
Phaholyothin Road, Klong Luang, Pathumthani 12120, Thailand

アース製薬株式会社 赤穂工場



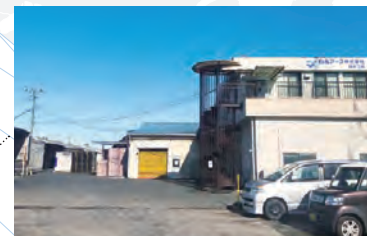
兵庫県赤穂市西浜北町1122-73

アース製薬株式会社 坂越工場



兵庫県赤穂市坂越3218-12

白元アース株式会社 栃木工場



栃木県小山市大字荒井70-2

白元アース株式会社 埼玉工場



埼玉県久喜市小右衛門1387

株式会社バスクリン 静岡工場



静岡県藤枝市谷稲葉242-1

アース・ペット株式会社 徳島工場



徳島県徳島市川内町加賀須野923

白元アース株式会社 和歌山工場



和歌山県和歌山市小雛賀1-1-27

Challenge & Change

挑戦と変化を続け、世界中にアース

海外の売上拡大に向けた3つの強化策

1

現地5法人を
中心としたエリアごとの
戦略

現地法人があるタイ、中国、ベトナム、マレーシア、フィリピンを中心に、エリア戦略を強化しています。タイ・ベトナムでは売上とともに収益・市場シェア拡大を推進し、マレーシア・フィリピンでは販路拡大、中国では事業戦略の見直しに伴い、実店舗を展開する上位小売企業への営業強化を行います。さらに、輸出も積極的に拡大するとともに各エリアにおける成功事例の横展開も加速させていきます。



2

将来の成長を見据えた
サプライチェーンの整備

円滑な商品供給の確立と利益拡大に向けて、各エリアの中長期計画と連動した全体最適の視点での体制の整備を行います。また、新たなM&Aを含めた生産体制と物流網の構築を進めていきます。

3

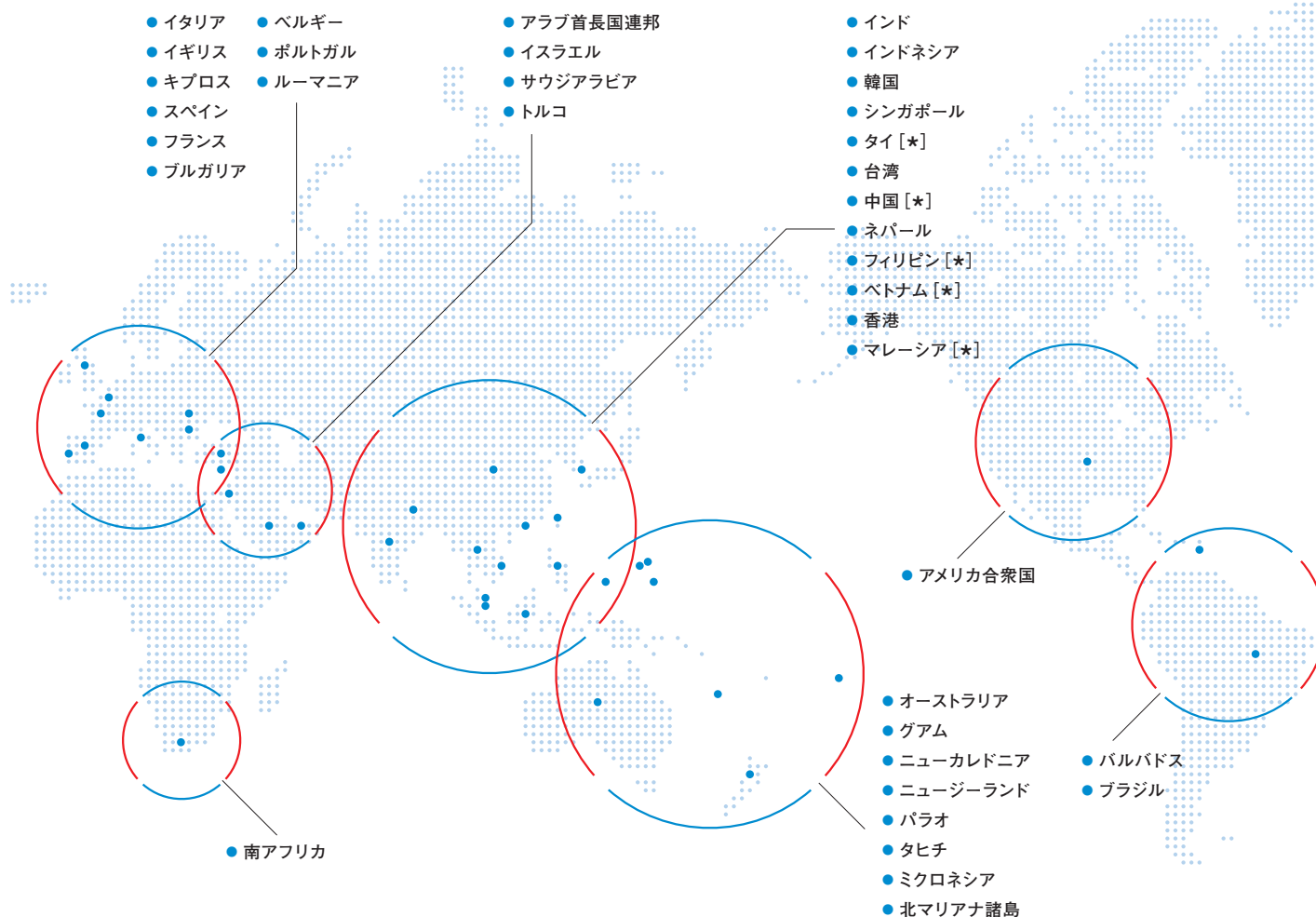
グローバル人材の
育成・採用

海外戦略の成功には、グローバルシフトに向けた人材強化が重要です。年齢を問わずポテンシャルを重視して早くから海外マーケットで経験を積める体制づくりや、現地採用を含めた人材確保に注力していきます。

ブランドの浸透を目指して

輸出先マップ

●輸出先（[*]印は現地法人）



（2023年輸出実績より）

海外トピックス

【東南アジア】

2026年、タイで虫ケア用品シェアNo.1達成へ

タイでは、虫ケア用品、エアケア、オーラルケア用品に注力しており、タイのブランドとして確固たる地位を築いています。中でも虫ケア用品は、現在、タイの市場シェア第2位を獲得。海外初のシェアNo.1を目指し、現地法人が一体となって2026年の達成を目指しています。



【東南アジア】

統一されたグローバルブランドの確立

世界中にアースブランドを浸透させるためには、それぞれの国で暮らす人々の生活に向き合い課題を解決するとともに、ブランドの統一化が不可欠です。オーラルケア用品「モンダミン」のグローバルブランド化、新グローバルブランドの立ち上げなどマーケティングを強化しています。



【輸出・越境】

輸出事業と越境EC・現地ECの拡大

現地法人のある5ヵ国以外にも、世界約50ヵ国・地域に向けてアースグループの商品を輸出しています。現地代理店との強固なパートナーシップを築き、商品軸の拡大、サウジアラビアを中心とした中東や台湾、北米への展開を加速していきます。日本の越境EC部門では、外部環境変化を受ける中、中国国内ECとの柔軟な連携を行うことで相乗効果を目指します。また、タイ、ベトナム、マレーシア、フィリピンにおいても重点商品を定めて現地ECの展開を推進していきます。



“より早く・より多く”を合言葉に シェア拡大・市場開拓を狙う

2016年以降、タイ法人への増資、ベトナムでのM&A、マレーシア法人の設立、中国での法人再編、フィリピンでのM&Aを行うなど、アジア収益基盤の拡大を目指した取り組みを加速しています。海外現地5法人に「アース流」を深く浸透させ、さらなるシェア拡大と市場開拓を目指していきます。

Earth (Thailand) Co., Ltd.

アジア・中東諸国を網羅する グローバル戦略のハブ

アースグループ初の海外法人として1980年に設立。商品開発・生産・販売・物流までを一手に担う地域密着型のビジネスモデルで、タイにおいて確固たる基盤を築いています。現地発の虫ケア用品ブランド『OASIS』や、『モンダミン』のご当地限定フレーバーの生産など、市場ニーズから発信する“お客様目線”の商品育成にも注力しています。商品の内製化が進み、安定した生産力で、日本やASEAN諸国、中東エリアに対する生産拠点の役割も担っています。海外初の虫ケア用品シェアNo.1へ向け、タイでの知見を他国にも応用しながら、アジア地域のハブとしてさらなる飛躍を目指しています。



タイの消費者リサーチに基づく処方やパッケージ訴求からお客様支持率が大きく拡大中。海外初のシェアNo.1へさらなる高みを目指している。

香り好きのタイ人のニーズに応え誕生した『OASIS』は虫よけ効果もある芳香剤(左)。「モンダミン カワイイ」はタイのオリジナル商品(右)。ホワイトニング効果もあり、人気。

安ス(上海)投資有限公司

めざましい発展を続ける中国で 認知と信頼を獲得

発展著しい中国市場での売上拡大を目指し、2015年に営業部門の統括販社として設立。天津・蘇州にある工場2社および白元アースやアース・ベットとも協働し、北京・上海・広州・深圳の4大都市を主軸に販売活動を行っています。主力商品は『ARS安速(アース)』。実店舗を展開する企業での販売強化と、ECチャネルでの顧客獲得を日本との連携で進めています。中国国内、日本の両面から中国でブランド普及することを見据えた活動をしています。



『アースノーマット』はARSブランドを強調したデザインにリニューアル。ハエも捕獲できる機能も訴求し、中国での売上拡大を目指している。

『安速 小強黒克』(ブラックキャップ) 12個入り。連鎖効果で巣のゴキブリもしっかり駆除する。日本のインバウンド市場で人気を博した本商品は、中国でも大好評。

Earth Corporation Vietnam

強力な販売ネットワークを活かし 虫ケア用品市場を活性化

ベトナム国内で家庭用品を製造・販売していた現地法人を前身に、2017年より社名を一新して始動。国土が南北に長く、個人商店が7割を占める環境下でスムーズな配荷を行うため、全国700名体制の販売組織網により、発展し続けています。主力商品の洗剤ブランド『Gift』を基盤にしながら、虫ケア用品市場の活性化のため、『ARS』の拡大・浸透を進めています。また、南部のビンズン工場では、主に液剤やエアゾールスプレーを製造。今後は、ASEAN諸国はもちろん日本向け商品の生産拠点化も視野に入れ、投資を積極化しています。



『ARS GOLD』は蚊やハエ、ゴキブリ、アリといった飛ぶ虫・這う虫の両方に、『ARS PINK』は蚊やハエに効果があるエアゾールの新商品。『ARS』の拡大・浸透の主力商品として販売を強化していく。

前身の法人時代から市場に広く浸透しており、現在も変わらず高いシェアを維持する住居用洗剤『Gift』シリーズ。食器用やトイレ用などバリエーションも多数。

EARTH HOME PRODUCTS (MALAYSIA) SDN. BHD.

ASEANでのブランド認知を高め グローバル展開を加速化

ASEAN諸国の中でも高い経済成長率を維持しているマレーシア内での販売商社で、2019年に設立。他の東南アジア諸国同様、温暖な気候を背景に蚊が媒介する感染症リスクがあるため虫ケア用品のニーズが高い国です。また、経済発展に伴いお客様の衛生意識や消費意欲が向上しているため、アース製薬の強みである高付加価値商品が浸透する市場として、成長が期待されています。現在は、東南アジア地域におけるブランド認知を高めることを目指し、現地の販売代理店や協力会社と密に連携。グループ企業が製造する商品を販売し、グローバル展開の加速に努めています。



2022年発売のエアゾール。12時間効果が継続する『ARS 12-HRS』、トコジラミにも効く『ARS CRAWLY7』など優れた機能を有する。

タイ発の虫よけ効果もある芳香剤。別剤型の販売展開も視野に『OASIS』ブランド拡充に努めている。

EARTH HOMECARE PRODUCTS (PHILIPPINES), INC.

グローバル戦略の新拠点 アジア収益基盤の拡大を担う

フィリピンで虫ケア用品・家庭用品・ペットケア用品などを販売していた企業から事業の大部分を買収し、2022年に現社名に一新して始動。先行するタイおよびベトナムの工場との連携によりシナジーを生み出します。フィリピンは著しい人口増加や高い経済成長が見込まれ、他の東南アジア諸国同様、虫ケア用品や家庭用品のニーズが年々高まるなど、経済発展に伴い将来にわたり成長が期待できる市場です。前身企業の事業に、アースグループの商品投入により、今後もより一層の成長を目指し、アジア収益基盤拡大の一翼を担っていきます。



市場の主要カテゴリーであるエアゾールで、2024年に『ARS JET GOLD』を発売。前身企業が築いたブランド価値を大切にしながらアースの強みとのシナジーを発揮し、事業の土台拡大を狙う。

アース製薬の代名詞ともいえる「ごきぶりホイホイ」を展開。日本の品質の高さを示す虫ケア用品の第一弾としての役割も担う。

Challenge & Change

アースグループのサステナビリティ

グローバルに取り組む、
アースグループのサステナビリティ

アースグループでは、安全で快適な暮らしの提供を通じた自社と社会のサステナビリティの実現に向け、積極的にCSRとサステナビリティ活動に取り組んでおり、その活動の範囲は、世界に広がっています。

サステナブルな企業経営を考える

マテリアリティ・イニシアティブへの参画

アースグループが長期にわたり発展し続けるためには、さまざまな社会課題の企業活動への影響を認識、評価し、経営上の重要課題を明確にする必要があると考え、アース製薬は2021年にマテリアリティ（重要課題）を定めました。重点テーマと、それに紐づいた目標・KPIを指標に、アースグループの事業特性や経営資源を活かしたサステナブルな取り組みを推進しています。



マテリアリティの詳細は上のQRコードへアクセスしてください

アース製薬が参画している主なイニシアティブ

国連グローバル・コンパクト (UNGC)

各企業・団体が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会の良き一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組みです。アース製薬は2021年に参画する以前から、UNGCの10原則に沿った活動を独自に行っていました。今後もさまざまな社会課題解決を目指す事業活動を通じたESGの分野でグローバルに通じるサステナビリティ活動を推進していきます。



TCFD提言

2022年にTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）への賛同を表明しました。アース製薬のマテリアリティの一つである「気候変動への対応」に向け、TCFD提言に準拠した分析と検討を行い、情報開示に真摯に取り組んでいます。



TCFDコンソーシアム

TCFDの取り組みに賛同し、TCFDコンソーシアムに参画しました。参画によって、気候変動がもたらす財務インパクトの把握や提言に基づく情報開示に積極的に取り組んでいます。



気候変動イニシアティブ (JCI)

「脱炭素化をめざす世界の最前線に日本から参加する」宣言に賛同し、自社の気候変動対策の方針や目標、取り組み等を開示しました。2050年までに脱炭素社会の実現を目指すため、企業活動においてエネルギー効率化と再生可能エネルギーの利用を加速しています。



TNFDフォーラム

自然資本や生物多様性におけるリスクや機会を評価し、開示するための枠組みを構築する国際的な組織であるTNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）のビジョンとミッションを共有し、サポートするための組織です。世界的な課題である生物多様性保全に貢献していきます。



JBIB

生物多様性条約第8回締約国会議を受け、日本でも民間企業の参画が求められています。生物多様性の保全活動に積極的に取り組む企業としてJBIBに加盟し、国内外の生物多様性の保全に貢献することを目指しています。



30by30アライアンス

「30by30」の目標達成に向け、今後日本として現状の保護地域（陸域約20%、海域約13%）の拡充とともに、民間等によって保全されてきたエリアを認定する取り組み「生物多様性のための30by30アライアンス」に2023年に参画し活動しています。



気候変動への対応

CO₂排出量削減

アースグループは、地球環境と調和した事業活動を行っています。

気候変動問題への対応は、企業価値に関わる重要な経営課題であると認識し、CO₂排出量を削減する取り組みを推進しています。

再生可能エネルギーへの転換

2021年4月に兵庫県赤穂市にある赤穂工場を、2022年には同工場内事務所棟などを、そして、2023年4月に坂越工場内の生産棟で使用する電力を再生可能エネルギー由来の、実質的にCO₂を発生しない電力に切り替えました。これによりアース製薬の自社工場で商品を生産するために使用する電力のCO₂排出量ゼロを実現しました。



坂越工場

第三者保証

「脱炭素社会の実現」に向けて、サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量を把握することの重要性をアースグループ全体で認識しています。2022年はScope1、2（アースグループ）に加え、Scope3（アース製薬）を含む包括的なGHG

排出量を可視化。さらに正確性を担保するため第三者保証を受けました。今後も気候変動対応をより強化し、アースグループのGHG排出量の開示、カーボンフットプリント算定、排出量削減に向けた取り組みを実施していきます。

地球環境問題への配慮

生物多様性保全

アース製薬は、2023年に生物多様性方針を策定し、当社およびサプライチェーン全体で生物多様性の保全とその持続可能な利用に向けて、ステークホルダーと協力しながら取り組みの推進に努めています。

自然環境の保護

アース製薬では、生き物が暮らす森を保護するだけでなく、その森に暮らす生き物の調査にも力を入れています。

●天然記念物の森を守る活動（兵庫県赤穂市の坂越浦沖に位置する生島）

ムベの除伐作業	ナラ枯れ対策
照葉樹林に影響を与えるツル植物、ムベの除伐作業に協力しました。	被害状況調査やモニタリングに協力し、カシノナガキクイムシの防除のため『かしながホイホイ』の提供、設置、回収を行いました。

●自然共生サイト認定※

アース製薬坂越工場内にある緑地（アース坂越の森）内の生態調査と保全活動に取り組んでおり、2024年3月、環境省「自然共生サイト」に認定されました。

※自然共生サイトとは、民間の取り組み等によって生物多様性の保全が図られている区域を国が認定する制度です。認定区域は、保護地域との重複を除き、国際データベースに登録されます。



世界の人々の安全で快適な暮らしを実現

アース（タイランド）の社会貢献活動

「Earth CSR Project」

アース（タイランド）は、「感染症トータルケアカンパニーとして、世界の人々の安全で快適な暮らしを実現する」をスローガンに、「Earth CSR Project」として社会貢献活動に取り組んでいます。デング熱撲滅を取り組みの主な活動とし、虫ケア用品（蚊取線香、OASISローション）をサンプリングするとともに「デング熱予防」の啓蒙リーフレットを配布し、感染の怖さと予防の大切さを広めています。病院や学校、献血センター、市場、小売店店頭でのサンプリングのほか、学校ではデング熱予防の勉強会も開催。特にタイ国内で最もデング熱罹患率の高いメーホンソーン県を「デング熱撲滅強化エリア」に選定し、メーホンソーン県での撲滅活動にフォーカスしたCSR活動を実施しています。



ペットとのより良い暮らしや社会福祉への貢献

アース・ペットの地域・社会貢献活動

アース・ペットは、ペット業界初の体験型研究施設『徳島ペットランド』を2023年4月、大塚製薬徳島第二工場内に開設しました。同施設は、ペットやペットケア関連商品への理解促進、ペットとのより良い暮らしや社会福祉への貢献を目的としています。研究所機能に加え、ペットフードなどの商品開発プロセスを見学できるほか、犬や猫と実際に触れ合えるスペースやトリミング体験設備を備えるなど、これまでにない新しいスタイルの施設です。また、「生物観察室」では、重篤な病気の原因にもなる蚊やマダニ、ノミなどとともに、そうした虫から愛犬・愛猫を守るペット用の虫ケア用品を併せて展示し、商品の用途や使い方を分かりやすく伝えています。



(右上) 体験型リビングルーム、(下) 犬猫ステイゾーンとエントランス

社員の心身の健康づくりを推進

「健康経営優良法人」にアース製薬、バスクリン、白元アースが認定されました

経済産業省と日本健康会議が共同で選ぶ「健康経営優良法人認定制度」は、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業などを顕彰する制度として2016年に創設されました。アース製薬は「健康経営優良法人2024（大規模法人部門〈ホワイト500〉）」、バスクリンが「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」、白元アースが「健康経営優良法人2024（中小規模法人部門）」に認定されました。アース製薬では2019年に「アース健康宣言」を制定して以降、社員の健康維持・増進を促進してきたほか、柔軟な働き方とあと押しする各種人事制度の拡充、予防接種・歯科検診受診の費用補助などを行っています。バスクリンでは社員のヘルスリテラシー

向上を目標とし、入浴アドバイザーによる健康入浴法の講義や産業医によるメンタルヘルスに関する講義などをオンラインで配信しています。また、さまざまな健康に関する情報を発信し、社員の健康保持・増進を推進しています。白元アースでは健康宣言の下、20時完全退社やノー残業デーを設けるなど、長時

間労働削減に関する取り組みを含む働き方改革、メンタルヘルス、安全衛生の3つの課題を中心に健康経営に取り組んでいます。アースグループではこれからも、社員の健康管理の促進、意欲的に働ける職場環境の整備など、心身の健康づくりを推進してまいります。



(左) アース製薬、(中) バスクリン、(右) 白元アースの認定証

スポーツの継続的な発展を支える

スポーツを通じた社会貢献活動

アースグループでは、スポーツが生み出す感動、勇気、元気を社会に幅広く届けたい思いから、スポーツの発展に向けたサポートを行っています。アース製薬では、女子プロゴルフツアーの『アース・モンダミンカップ』を2012年から開催しており、2024年の大会で第13回目を迎えます。また、国内プロサッカーでは、公益財団法人日本サッカー協会（JFA）主催のJリーグに加盟する「徳島ヴォルティス」のユニフォームスポンサーになっています。国内女子プロサッカーにおいても、JFAと一般社団法人日本女子プロサッカーリーグ主催のWEリーグに加盟する「INAC神戸レオネッサ」のユニフォームスポンサーとして応援しています。また、女子アマチュアサッカーにおいて、一般社団法人日本女子

サッカーリーグ主催のなでしこリーグに所属する「ASハリマアルビオン」のユニフォームスポンサーとして応援し、地域活性を目的としたイベントへ参加しています。バスクリンでは、一般財団法人東京マラソン財団が主催する「東京マラソン」に協賛し、入浴によるランナーのパフォーマンス

アップを支援しています。また、長距離ランナーの新谷仁美選手とパフォーマンスパートナー契約を締結し、日々の疲労回復や競技力向上のサポートをしています。アースグループは、これからもアスリートのサポートだけでなく、スポーツの持続的な発展の一翼を担ってまいります。



アースグループのあゆみ

1890 ～ 2013年

2014年

2023年



1892年 大阪（難波）で創業
1925年 (株)木村製薬所を設立
1964年 アース製薬(株)に社名変更
1980年 ARS CHEMICAL (THAILAND) CO., LTD. (現 Earth (Thailand) Co.,Ltd.) を設立
1990年 天津阿斯化学有限公司を設立
2005年 安速日用化学（蘇州）有限公司を設立
2012年 (株)バスクリンを子会社化

2014年
白元アース(株)
を設立して
子会社化



2015年
「温泡」発売

2016年
ジョンソントレーディング(株)
を子会社化



2016年
「スッキーリ」
発売

2017年
コーポレートロゴ、スローガンを一新
A My Gia Joint Stock Company
(現 Earth Corporation Vietnam) を子会社化



2019年
「ヘルパータスケ」発売
「バブルーン」発売

2019年
EARTH HOME PRODUCTS
(MALAYSIA) SDN. BHD.を設立



2022年
「イヤな虫 セロデナイト」発売
「マモルーム」発売

2022年
EARTH HOMECARE PRODUCTS
(PHILIPPINES), INC.を設立



2023年
「ゼロナイトG ゴキブリ・トコジラミ用」発売
「ゴキッシュ スッ、スゴい!」発売



1893年 津村順天堂（現 (株)ツムラ）を創業
1988年 (株)ツムラへ社名変更
2006年 ツムラ ライフサイエンス(株)を設立 (株)ツムラから家庭用品事業を承継し分社)
2008年 ツムラ ライフサイエンス(株)がツムラグループから独立
2010年 (株)バスクリンに社名変更
2012年 アースグループに参加

2014年
「薬用入浴液」発売（通販）



2016年
「バスクリン くすり湯」
発売（通販）



2017年
「インセント薬用毛髪躍動」
発売



2018年
「バスクリンマルシェ」
発売



2020年
「バスクリン」発売90周年記念
限定企画品発売



2021年
「メンズ美漢精薬用フェイスクア」
発売（通販）



2022年
「バスクリン極みの湯」
発売



2023年
「日本の名湯 夢ごち」
発売



1923年 鎌田商会を創業
1950年 (株)鎌田商会を設立
1972年 (株)白元に社名変更
2012年 白元日用品製造（深圳）有限公司を設立

2014年
アースグループに参加



2015年
「HERSバサラボ」
発売



2016年
「ノンスメル清香水」
発売



2017年
「スタイルメイト」
シリーズ発売



2018年
「Natural ミセスロイド」
発売

2019年
栃木工場を新設



2020年
「ノンスメル清香水」
リニューアル発売



2021年
「アイスノン冷涼感マスク」
発売



2022年
「ミセスロイド」リニューアル発売
「ドライ&ドライUP NECO」発売
「汗だしJUWA」発売



2023年
足立ビルをリノベーションし、
足立本社として再編



2023年
「アイスノンソフト」リニューアル発売
「ピーススタイル立体タイプ バイカラー」発売



1973年 大塚ゾエコン（現 アース・ペット(株)）を設立
1989年 アース・バイオケミカル(株)（現 アース・ペット(株)）に社名変更
2008年 (株)ターキーを子会社化
2012年 ニッケペットケア(株)を子会社化

2014年
ニッケペットケア(株)を合併



2014年
「ファーストチョイス」
販売開始

2017年
アース・ペット(株)に社名変更
ジョンソントレーディング(株)を合併
ペットフード工房(株)を設立して子会社化

2018年
(株)ターキーを合併



2020年
「ぬくりん」発売



2021年
「ショットオン」発売

2022年
「あーす・べっとはうす」を
八重洲地下街にオープン



「三重ペットセンター」開設



2023年
「徳島ペットランド」開設



1978年 アース環境サービス(株)を設立
2004年 北京阿斯環境工程有限公司を設立

2015年
試験法「カタラーゼ代替法」開発



2016年
彩都総合研究所〈T-CUBE〉を開設
上海安瞬環境工程有限公司を設立
Earth Environmental Service (Thailand) Co.,Ltd.を設立
ARS Environmental Service (Thailand) Co.,Ltd.を設立
情報一元化システムESCOEVO開発

2018年
WEBラーニングサービス開始
捕虫器「LED641」開発



2019年
日商阿斯環境服務股份有限公司を設立

2019年
製品の微生物汚染源の迅速推定システム「ラビコム」
「酵母用検査キット」(MAYキット)を開発
環境衛生除菌消臭剤「BACT-1O₂」発売

2020年
Earth Environmental Service Vietnam Co.,Ltd.を設立

2021年
教育訓練用
CPCの設置

2022年
リアルソリューション(株)
を子会社化

2023年
企業理念を一新

2022年
小動物AI監視システム
「ベスクル」を開発

Group Information

アースグループ会社一覧

アース製薬株式会社

【概要】
所在地●東京都千代田区神田司町2-12-1
創業●1892年(明治25)4月1日
設立●1925年(大正14)8月26日
資本金●100億4,362万円
代表●代表取締役社長CEO 兼 グループ各社取締役会長
川端 克宜
従業員数●1,358名(2023年12月末現在)
事業内容●医薬品、医薬部外品、医療用具、家庭用品等の製造、販売、輸出入

株式会社バスクリン

【概要】
所在地●東京都千代田区九段北4-1-7 九段センタービル8F
設立●2008年(平成20)7月1日
資本金●3億円
代表●代表取締役社長 三枚堂 正悟
従業員数●324名(2023年12月末現在)
事業内容●医薬部外品(入浴剤・育毛剤他)、化粧品、雑貨品等の製造、販売

白元アース株式会社

【概要】
所在地●東京都足立区本木2-4-23
設立●2014年(平成26)8月5日
資本金●3億円
代表●代表取締役社長 吉村 一人
従業員数●397名(2023年12月末現在)
事業内容●防虫剤、マスク、保冷剤、除湿剤、入浴剤等日用雑貨品の製造、販売

アース・ペット株式会社

【概要】
所在地●東京都港区新橋4-11-1 A-PLACE新橋2F
設立●1973年(昭和48)8月15日
資本金●4,000万円
代表●代表取締役社長 長田 俊之
従業員数●120名(2023年12月末現在)
事業内容●ペット用品、ペットフード等の製造、販売

アース環境サービス株式会社

【概要】
所在地●東京都中央区晴海4-7-4 CROSS DOCK HARUMI 3A
設立●1978年(昭和53)5月10日
資本金●2億9,600万円
代表●代表取締役社長 田渕 徹
従業員数●955名(2023年12月末現在)
事業内容●工場、医療関連施設等の総合環境衛生管理サービス

【経営理念】
いのち
生命と暮らしに寄り添い、
地球との共生を実現する。

【経営理念】
私たちは、自然との共生を原点として、
身体と心と環境の調和を図り、
健やかで心地よい生活を提供します。

【経営理念】
熱意、創意、誠意をもって
世界の人々の暮らしに役立つ製品を
開発・提供し、我が社にかかわる全ての
人々の幸せと社会の発展に貢献します。

【経営方針】
ペットと人の絆を大切に、
心豊かな暮らしを実現する。

【Vision】
より豊かな未来へつながる
「環境」形成に貢献する

Earth (Thailand) Co., Ltd.

【概要】
所在地●287 Liberty Square Building,12th Floor, Room no. 1201 and 1202, Silom Road, Silom, Bangrak, Bangkok 10500 Thailand
設立●1980年(昭和55)5月21日 代表●プレジデント 佐藤 憲太郎
資本金●5億バーツ 事業内容●虫ケア用品、家庭用品の製造、販売、輸出入

安斯(上海)投資有限公司

【概要】
所在地●中国上海市長寧区遵義路100号 虹橋南豊城A楼908-909室
設立●2015年(平成27)6月3日 代表●董事長 和田 正治
資本金●1,780万USドル 事業内容●虫ケア用品、家庭用品等の販売

天津阿斯化学有限公司

【概要】
所在地●中国天津市天津経済技術開発区西区新安路98号
設立●1990年(平成2)7月18日 代表●董事長 和田 正治
資本金●580万USドル 事業内容●虫ケア用品、家庭用品の製造、販売、輸出入

安速日用化学(蘇州)有限公司

【概要】
所在地●中国江蘇省蘇州市高新区朝紅路418号
設立●2005年(平成17)5月20日 代表●董事長 和田 正治
資本金●1,000万USドル 事業内容●家庭用品の製造、販売、輸出入

Earth Corporation Vietnam

【概要】
所在地●Floor 18th, Block A, Viettel Tower, 285 Cach Mang Thang Tam Street, Ward 12th, District 10th, Hochiminh City, Vietnam
設立●2006年(平成18)6月28日 代表●ゼネラルディレクター 山内 豊
資本金●150億ベトナムドン 事業内容●住居用洗剤、芳香剤、虫ケア用品等の製造、販売

EARTH HOME PRODUCTS (MALAYSIA) SDN. BHD.

【概要】
所在地●A-8-02, Capital 1, Oasis Square, No.2, Jalan PJU 1A/7A, Ara Damansara, 47301 Petaling Jaya, Selangor, Malaysia
設立●2019年(平成31)3月19日 代表●マネージングディレクター 岡田 将太郎
資本金●2,517万マレーシアリング 事業内容●虫ケア用品、家庭用品の販売、輸出入

EARTH HOMECARE PRODUCTS (PHILIPPINES), INC.

【概要】
所在地●2105 Atlanta Centre, 31 Annapolis St., Greenhills, San Juan City, Metro Manila, Philippines
設立●2022年(令和4年)4月1日 代表●マネージングディレクター 嵐 貴裕
資本金●1億6,150万ペソ 事業内容●虫ケア用品、家庭用品の輸出入、販売